

INFORMATION **エセナおおた** 第3号

平成14年11月30日

発行:大田区立男女平等推進センター区民自主運営委員会

「写真展&トークショー」のご案内

チェチェン戦争

ひと
私の出会った女男たち

会期:2003年1月23日(木) ~ 29日(水)

10:00~20:00 (初日は午後1時から、最終日は午後4時終了)

会場:大田区男女平等推進センター「エセナおおた」1階

貧困、路上での暴力そして戦争…。弱者に対して無慈悲な社会で、真っ先に犠牲になるのは女性と子どもたちです。

この写真展では、1995年に女性たちで企画された「平和の行進」に同行した林氏の写真、ジャーナリストとして立ち上がった女性たちを描いた報道番組(2000年9月放映)をトークショーでご覧になれます。また、難民キャンプで暮らすチェチェンの子どもたちに描いてもらった「故郷の町やあこがれている町の絵」も一緒に展示します。

トークショーではビデオを交えたチェチェン紛争下の女性、難民キャンプの女性や子どもたちの具体的な話を聞くことができます。



「残された家族」

保育付き

要・申し込み(1月15日から先着10名)

トークショー 1月25日(土)

第1部 13:30より

チェチェン戦争「私の出会ったひとたち」

ジャーナリスト・「月刊あれこれ」編集部 林 克明

第2部 14:45より

忘れられた子どもたち～人道支援の現場から

(特活)外・ガク・デ・1・モト・ジ・ホ・ン 広報 田口 かずみ

主催:大田区立男女平等推進センター区民自主運営委員会
<お問い合わせ・申し込み先>

電話:3766-6587 (平日9時~17時)
ファクス:5764-0604

特集

2002年10月26日(土)・27日(日)開催

エセナフェスタ報告

記念講演 (トークサロン)

10月26日(土) 13:15~15:00 3F多目的ホールにて

村上信夫さん (NHK チーフアナウンサー)

「おやじの腕まくり——平日は会社人間、週末は社会人間」

エセナフェスタ第1日、開会式に引き続き多目的ホールで、NHK チーフアナウンサー村上信夫氏を迎えて開催しました。

ビデオ映写を交えた軽快なテンポのトークは、ホールを埋めた約180名の参会者を楽しませてくれました。

村上さんは、単身赴任をきっかけに父親の「地域参加」の必要性を感じ、1994年父親たちの社会活動グループ「おやじの腕まくり」を結成、パブル社会が会社へ連れて行った日本の「おやじ」を、週末には地域の中に取り戻そうとしました。

お互いの仕事や肩書きも知らず上下関係にとらわれない地域社会活動は、おやじ自らを生き返らせ家庭の中まで明るくなりました。

地域子どもたちや多くの人々と関わるその活動は今や全国に広がりつつあるという。居酒屋という とっておきの事務所(?)で、結束を固めるおやじ達の姿にエールを送りつつトークサロンを終了しました。

トークサロン終了後、まだ聞き足りない、話し足りないという15、6名が残り、「時間の許す限り付き合ひましょう」と快く承諾された村上氏を囲み、時の経つのも忘れて歓談しました。

何らかの形で地域活動に参画しているメンバーが多く、地域活動と行政との関わりなど、具体的な質問も次々と出ました。

「良い会社人間は、地域でも良い社会人間」と語る村上氏の言葉を、今、誰もが改めて考える必要があるのでは……と話しつつ散会しました。



エセナフェスタを終えて

「エセナフェスタ」をつくる会
会長 北田 久枝

今年は、「築こう男女共同参画社会—共にかがやけその力」をテーマに掲げ、区民自主運営委員会主催、第1回目のエセナフェスタとなりました。女も男もお互いの力を認め合い、お互いが持っている力を出し合うことで初めて男女共同参画社会を築くことができます。その意味からも、今回掲げたテーマは最良のテーマではなかったかと自負しております。

また、今回の特徴として、昨年出された「第4期大田区男女平等推進プラン」を基にして、各サークルが男女平等推進の目標を掲げて参加したことは、男女平等推進の拠点となるセンターの、目的館としての位置づけを再確認したフェスタだったと思います。

新しい試みである「フリーマーケット」の同時開催は、初めてのこともあつて集客率は期待に添うものではありませんでしたが、次年度に続くことを考えると、開催した意味があつたのではないかと思います。また、毎年繰り返すことにより定着し、同時に集客率も上がってくると思いますので、出店者の皆様、来年もぜひ出店をお願いいたします。

運営委員会の委員およびスタッフ全員が、自ら主体的に運営・実行したことにより、「フェスタ」というひとつの事業を通して、お互いの信頼関係につながったことは今回一番の収穫だったと思います。これを機に、男女平等推進センター「エセナおおた」のさらなる発展につながることを期待しています。

分科会1：大田区男女平等推進区民会議主催

10月27日(日) 11:00~13:00

第2、3 学習室にて

男女平等推進プラン「区民の役割」を考える

「安心して生み育てられる社会環境の整備」

「安心して生み育てられる社会環境の整備」—職場で 家庭で 地域で私たちにできることって?—

大田区男女平等推進区民会議委員会の主催で、参加者全員が自分の意見を書きながら、KJ法により問題をまとめていく方法をとった分科会でした。

5~10名ほどのグループに分かれて、職場、家庭、地域においてのそれぞれの問題点を探り、提案をまとめました。

先輩区民会議委員も参加、子育て真っ最中の若いお母さん、地域で実際に問題に取り組んでいる人、NPOで活動している人、すでに子育ては卒業し孫の誕生を待つ人など多彩なメンバーで、

お父さんの姿もありました。経営管理部の江頭部長もご臨席され、熱心なグループ討議をお聞きになっていました。

各グループの発表のあと、区民会議委員の厚生労働省岩田局長が、市民の提案として国の施策への参考にしますとまとめられ、参加者は大いに満足しました。現在報告書を作りつつあります。できあがりしましたら「Information エセナおおた」でご案内します。



各部よりの報告

交流部

今年度は3つのメインを決めエセナフェスタ大成功へ向けて全力で取り組みました。

- 1、クイズに答えて、男女共同参画社会を理解する。
- 2、ビデオを観て、女性問題を理解・確認する。
- 3、将棋をしながら、親子・友人等の人間関係を深める。

「第4期大田区男女平等推進プラン」の中からクイズを出題、エセナおおた全館をみてまわるうちに答えが判る仕組み、参加された方にささやかな景品を差し上げました。

クイズラリー (解答)

- 1、まちづくりへの男女共同参画
- 2、地域家庭における男女平等の実現
- 3、仕事と家庭が両立できる環境づくり
- 4、安心して産み育てられる社会環境の整備
- 5、介護支援のための環境整備
- 6、女性の生涯を通じた健康づくり
- 7、国際的視野にたった男女平等のまちづくり

発表部

3階多目的ホールを使って日頃の成果を発表しました。

今年は、「男女平等推進プラン」から区民の役割「女性の生涯を通じた健康づくり」をテーマに、各サークルと話し合い本番を迎えました。

両日に渡り、サークルによるコーラス、ダンス、日本舞踏等一生懸命の発表でした。

参加サークルは、社交ダンスサークルとしてフレンズ、フォーユー、プロムナード、キンクブラザース、メンバーズメモリー、コーラスとして女声コーラスり、ハッピーハーモニー、日本舞踏 美柳会、ラウンドダンス RDリリース、卓栄会から協力員です。

分科会2：エセナフェスタをつくる会分科会部主催

10月27日(日) 14:00～16:00

第2、3学習室にて

日本の婚姻制度と社会システムのツラ～イ関係

講師：館 かおるさん 他

—民法改正や欧州の事例を参考に話し合いませんか—

「日本の婚姻制度と社会システム」について館かおるさん(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授)からの報告、「日本とヨーロッパにおける法的枠組みの中の家族」について西澤佳奈子さん(お茶の水女子大大学院人間文化研究科在学)の報告のあと参加者と懇談。

婚姻制度と社会のしくみが密接に絡み合っていることを考えるきっかけとなりました。

販売部

販売のスペースは1階入口、喫茶コーナーと2階のフロアでした。サークルの販売品はコーヒー、ケーキ、和菓子、カレー、ちらし寿司、おにぎり、豚汁、キムチ等々。品数も豊富に皆さまに喜んでいただきました。

その他、手作り品の袋物やアクセサリーは「まつり」に欠かせない人気商品でした。

展示部

23団体が参加しました。

1階のライブラリーコーナーを展示スペースとしたことで、ゆとりある展示ができました。

○参加された方の「声」として、*手作り絵本・書道・生け花の展示に大きな評価があった。

○男女平等関係の展示では、*多くのサークルが真剣に学習していることがわかり勉強になった、との評価を受けた。

○初めてフェスタに来場した方からは*展示が見やすい、いい雰囲気だった、落ち着いて見ることができた、との声も寄せられた。

今回のフェスタでは若い方々や、新しいサークルの活動展示できるよう募集をしていきます。

参加団体は、OTA子育て支援ネットふばれん、葉月会、玉水会、NPO法人たすけあい大田はせさんず、さわかぜ、翠心会、華の会、豊かに生きる綾の会、食事と健康を考える綾の会、一墨会、男女共同参画社会をめざす大田連絡会、ハッピーハーモニー、新日本婦人の会、福祉の会ジュシー、大田母親ジェンダー研究部、手作り絵本の会チューリップ、女性海外視察者の会、藍の会、アフリカ旧ザイール支援の会、男女平等推進センター区民自主運営委員会、押し花つくしの会、モダン手描染友の会、アートフラワーの会

ご案内

- 男女共同参画セミナー（全4回）
男女共生時代を生きるわたし
パートII

～女性と人権～

講師 安達倭雅子さん、諸橋泰樹さん
他3名(予定)

2003年

- ① 2月1日(土) 午後2:00～4:00
- ② 2月10日(月) 午後2:00～4:00
- ③ 2月22日(土) 午後2:00～4:00
- ④ 3月1日(土) 午後2:00～4:00

* 全回保育つき(1歳以上の未就学児)
* お問い合わせ：(3766)6587

ジェンダーに関することば辞典 No.3



「アンペイドワーク」

～「無償労働」などと訳されます。～

家事・育児・介護やボランティアなどの地域活動など報酬が支払われない働きや活動のこと。

アンペイドワークの代表的なものが育児や介護で、従来は当然のように女性の仕事とされてきました。

日本では専業主婦で5時間以上、共働き女性でも2時間以上が毎日このアンペイドワークに費やされています。(社会生活基本調査 総務庁・平成8年)

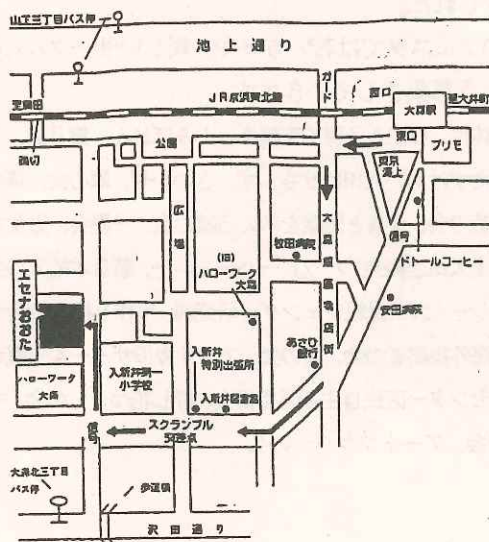
1995年の第4回世界女性会議(北京会議)以降、無償労働の実態を把握して、その時間をお金に換算し評価していこうという動きが広まっています。そうすることによって、家庭の中で家事や育児、介護を男女が平等に負担していくことを促進するためです。

「女性は世界の労働の3分の2を行っているが、収入は5%でしかなく、資産は1%にも及ばない」ことが1980年ILO(国際労働機関)の調査で明らかにされました。

これはまさしく女性ばかりがアンペイドワークを押し付けられている結果と言えます。

女性一人一人が、自分の家庭内のアンペイドワークを見直していくことは男女平等を進める上で、避けて通れない問題です。

案内図



大田区立男女平等推進センター
区民自主運営委員会

東京都大田区大森北4-16-4
〒143-0016 (エセナおおた内)

電話 03-3766-6587
03-3766-4586

(17時以降、土、日、祝祭日)

ファクス 03-5764-0604

